

『レポート課題集』作成の要領 (R・RorSR 科目用)

1. シラバス = 『レポート課題集』と『試験・スクーリング 情報ブック』とは
通信教育部における 4 つの授業の方法と 2 つのシラバス
通信教育部では、通学課程と異なり、4 つの授業方法が認められています。

①「印刷教材等による授業」 = 教科書等 + レポート (添削指導を含む) + 科目修了試験
→シラバスは『レポート課題集』で明示。今回はこちらをお願いします。

②「スクーリング (面接授業)」

③「オンデマンド・スクーリング (メディアによる授業)」

④「ビデオ・スクーリング (放送授業)」

→シラバスは『試験・スクーリング 情報ブック』の「スクーリング講義概要」で明示
※本学では 2017 年度 8 コマ・12 コマで行っている (2 単位 15 コマに不足している) た
め、レポート学修も必須としております。
※スクーリング講義概要は別紙にてお願いしております。

2. 『レポート課題集』の項目一覧

※『レポート課題集』の他科目をご参照ください

①授業科目名・科目コード・担当教員名・単位数・履修方法・配当学年・科目区分
授業形態 (演習、実験、実習、実技の場合のみ明記)
=事務室で記載しています。ご確認ください

②科目の内容

③到達目標

④教科書

⑤在宅学習 15 のポイント

⑥レポート課題

⑦アドバイス

⑧科目修了試験 評価基準

⑨卒業までに身につけてほしい力との関連

⑩参考図書

※その他、レポート 評価基準、受講条件、事前に学習しておいてほしい科目などの
掲載も可能です。

※スクーリングのみの科目 (レポートがない科目) の項目は異なりますので、後日、個
別にお知らせいたします。

3. 項目ごとの記載の仕方と留意点

(1) 科目の内容

・ご担当科目の紹介やねらいを 300 字以内でご執筆ください。通信教育部の場合、教科書で
学ぶこととなりますので、教科書の内容に準じて簡単におまとめください。

(2) 科目の到達目標

- ・到達目標として学生にこの科目で修得してほしいことを、3～6項目程度の箇条書きで記載をいただけないでしょうか。
- ・「到達目標」は「科目修了試験の評価の基準」と関連させてください。
- ・必ず箇条書きでお願いいたします。
- ・できるだけ「理解する」のような一般動詞ではなく、「～を述べることができる」「～を説明できる」「～について解説できる」等、学習者の行動目標を記述する動詞を使って、「到達目標」を記載してください（参考：東北福祉大学 シラバス作成の要領 http://www.tfu.ac.jp/fd/material/pdf/syllabus_point_2015.pdf）。

(3) 使用する教科書

- ・使用する教科書をご記載ください。市販のものを使用する場合は、
〇〇〇編著 『書名』 出版社名 の書式であげてください。

(4) 在宅学習 15 のポイント

- ・教科書の内容（一部参考図書の利用指定も可）を15回に分割して、以下の3項目に分けて、表のスタイルで掲載をお願いいたします。
 - ①テーマ = 授業計画のテーマに相当するもの。同じようなテーマを扱う場合でも、『レポート課題集C（心理専門編）2016』p.50の3回目と4回目のように、「〇〇①△△」「〇〇②□□」として記載してください。
教科書の章立てからなどできるだけ短く。
 - ②学習内容 および キーワード（キーワードはなくても可）
= 1回あたり1～2文でお願いいたします。
 - ③学びのポイント = 1回あたり1～2文でお願いいたします。実際にどのように学習してほしいかなどの記載をお願いいたします。
- ・学生にここはきちんと理解してほしい点（教科書1冊全部理解するのは無理なので、学習のポイントを絞る）を伝えていただく趣旨ので、その趣旨にそっておまとめいただければと存じます。
- ・科目修了試験の出題については、上記「到達目標」やこの「在宅学習 15 のポイント」と関連した内容をお願いいたします。
- ・1項目あたりの学習時間は6時間（ただし4単位科目は12時間）
 - ※教科書を読み、参考図書等で理解と考察を深める時間
各項目2時間（ただし4単位科目は4時間）
 - レポートを書く時間 各項目2時間（ただし4単位科目は4時間）
 - スクーリングを受講しスクーリング試験の勉強をする時間
または 科目修了試験を受験し科目修了試験の勉強をする時間
各項目2時間（ただし4単位科目は4時間）と形式的に考えて、1単位あたり45時間 2単位90時間の学習時間を確保していることとしています。

※参考図書の扱いについて

- ・教科書に掲載されていないことで、学生に学んで欲しいことと思われる場合は、参考図

書の一部を「15のポイント」に項目として入れてください。

- ・指定必読参考図書の場合は、「学びのポイント」などで読むべき箇所などの記載をお願いいたします。また、指定必読参考図書の場合は入手しやすい文献にしてください。
- ・先生がとくに指定せず、関連するどの参考図書でもよい場合は、その旨ご指示ください。ただし、「15のポイント」に項目として入れる場合は、参考図書を通じて、何を学習していただきたいかを明示いただければと存じます。

(5) レポート課題

- ・1単位分のレポートの回答の長さは400字詰原稿用紙5枚＝2000字としています。
(1単位分の課題をさらに2つなどに分割していただいても結構です)。
- ・レポートは原則として論述式です。課題は教科書の内容からご出題ください。
- ・返却方法を学生に伝えることになりましたので、事務室にて「※提出されたレポートは添削指導を行い返却します」と記載していますが、何か追記すべきことがあればご指示ください。

(6) アドバイス

- ・レポート課題に取り組むにあたっての学生へのアドバイスを全体解説とともに、各課題ごとをお願いいたします。
- ・レポート評価の観点も交えて、2000字～14000字程度の分量でご執筆ください。
- ・レポート用紙の書式は、こちらで一括で指示しますので、ご記入は不要です。

(7) 科目修了試験 評価基準

- ・科目修了試験の評価基準について、1～5項目程度の箇条書きでご作成をお願いいたします。
- ・ヒントのようなものを入れていただいても結構です。
- ・科目修了試験の出題については、上記「到達目標」や「在宅学習15のポイント」と関連した内容をお願いいたします。

(記載例)

内容理解が一番のポイントであるが、キーワードが書かれているか、記述の分量(1問あたり400～800字程度)も評価対象となる。

評価割合については、通信教育部では原則として試験100%と考えておりますが、科目修了試験採点の際に先生のほうでレポートの評価を加味していただく場合のみに%表示などを加えてください。

(記載例) レポート(30%) + 科目修了試験(70%)

【『学習の手引き』記載予定の全体方針】

科目修了試験・スクーリング試験の成績が科目の評価となる(試験100%)。ただし、『レポート課題集』の「科目修了試験 評価基準」に別途説明がある場合は、その旨になる。

(8) 卒業までに身につけてほしい力との関連

学位授与方針(ディプロマポリシー)や学部の教育目標との関連で「身につけてほしい力」を記載してください。

2017年～、または現行の学位授与方針(ディプロマポリシー)との関連で、「とくに身につけてほしい力」としてあがっているものを列挙させていただいていますので、適宜、先生の思う文面にご修正ください。

(記載例)

とくに、〇〇、〇〇を身につけてほしい。

〇〇、〇〇にはディプロマポリシーの言葉を入れていただければ、と存じます。

(福祉心理学科のDP=2017年～のもの)

総合的な人間理解力、根拠に基づく情報発信力、批判的・創造的思考に基づく問題発見・解決力、共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力、自己理解に基づくセルフコントロール力、集団理解に基づく対人調整力、心理学の学びを生かした社会貢献力

(社会福祉学科のDP=現行のもの)

基礎的知識、専門的知識、応用的知識、コミュニケーション力、レポート作成力、情報コミュニケーション技術 (ICT) 活用力、論理的思考力 (クリティカルシンキング力)、問題解決力、自己管理能力、協調性・主体性・リーダーシップ、倫理観、市民としての社会的責任、創造的思考力

(9) 参考図書

※必要に応じて参考図書をご指示ください。

(10) その他 レポート評価の基準・受講条件・事前に学習してほしい科目

【レポート評価の基準】

- ・全体で『学習の手引き 2012-2016 版』p. 195 のように統一してルーブリック評価を導入していることといたしております。
- ・ただし、とくに先生としてレポート評価をこのように行っている、ということがありましたら、別途記載をお願いいたします。

【受講条件・事前に学習してほしい科目】

- ・あれば記載をお願いいたします。ただし、各学科の「履修系統図」と矛盾する場合は、ご相談をさせてください。
- ・その他、受講にあたって、学生に伝えておいたほうがよいことは記載してください。

シラバス作成にあたって、ここに記載のないことは、教務部「シラバス作成の要領」に準じて、記載をお願いいたします。

4. 問い合わせ先

東北福祉大学 通信教育部 部長 寺下 明 課長 古藤隆浩
担当 小色隆志 坂ノ上陽子
〒983-8511 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-5-26
電話 022-233-2211 FAX022-233-2212 (内線 285・289・287)